

通信・IT ネットワークの分野では、日々新しい技術が開発され、より効率的で、より安価なサービスが次々と生み出されています。知らないことは、イコール企業利益の損失です。そこで私たち大和電設工業は、情報通信やITソリューションの『知って得する最新情報』を、お世話になっている皆様に定期的にお伝えしていきます。隔月発行のDDK通信、ぜひお楽しみください。

## WEB カメラの活用方法を考えよう

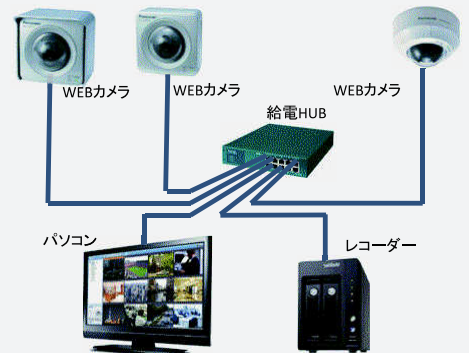


ケンブリッジ大学の世界最初のネットワークカメラ映像

ネットワークカメラ、WEBカメラ、呼び方は違いますが、同じ機能を持つカメラの事です。カメラをLANにつないでパソコン等で映像を見る事ができるようにした監視カメラ的な装置です。

WEBカメラの最初の活用は、インターネットの黎明期である約15年前にケンブリッジ大学のある研究室で研究員がコーヒーを飲むために設置しました。コーヒーポットまで行っても、コーヒーが残っていない事が多くあったので残りを手軽に見られる様にするために始めたと言われてしています。

WEBカメラを使うための機器構成はとても簡単で、WEBカメラとパソコンがあれば監視モニターとして使用できます。特殊なソフトも特に必要ありません。ほとんどのカメラはInternet Explorerがあれば映像を見る事ができます。また、記録が必要な場合は、記録（録画）するためのレコーダーが必要となります。それと、カメラに電源を供給できLAN通信と共用できる給電HUBがあれば便利です。



■ WEBカメラの構成例

現在、WEBカメラは凄い勢いで需要が伸びています。用途も色々あり、簡単な仕組みで「見える化」が実現できますし操作も簡単ところが普及を促進させています。

ビジネスシーンに限ってみると下記のような活用法が一般です。

- ① WEB会議 パソコンを使って遠隔地と簡易に会議を開催
- ② ライブカメラ 工事現場の工事進捗を周辺住民に公開
- ③ ライブカメラ 保育園などで園児の様子を父兄に公開
- ④ ライブカメラ 講師の授業を撮影し、後日学生の復習に活用
- ⑤ 在席管理 在席をプレゼンスする。部署全体を一度に確認
- ⑥ 防犯カメラ 夜間や人が少ない駐車場で防犯と事件の早期解決
- ⑦ 監視カメラ 生産ラインなどの状況監視。問題が発生した場合の早期状況把握
- ⑧ 観察カメラ 畑で野菜の育ち具合を観察し、病気の発生や収穫などの時期を確認



■ WEBカメラの使用例（⑤の場合）  
在席確認用カメラ  
他の部署から電話連絡前に在席を確認し不在の際の呼びっぱなしを無くします

さらに、最近ではWEBカメラの性能も非常に向上し、下記の様な高度な利用が可能となりました。

- (A) 高画質画像になり、車のナンバープレート認識や顔認識での活用が既におこなわれています。
- (B) 光量がほとんどない暗がりでのカラー撮影が実現しています。以前の赤外線とは異なり夜間でも鮮明な画像が期待でき、夜間の製造ラインの監視などに期待されています。

アイデア次第でWEBカメラの用途はますます広がると思います。ニュースで防犯としてのカメラの普及を実感されている方も多いと思いますが、実は防犯以外にも便利に使えると言う事が分かって頂けると思います。広範囲かつくを容易に確認でき、録画して繰り返し見れると言うポイントで使い方を考えてみてください。